

島原 京都駅

エリア



東本願寺 涉成園

東本願寺の飛地境内地で枳殻邸とも呼ばれています。文久3(1863)年、一橋慶喜(のちの徳川慶喜)が東本願寺に滞在した際、涉成園を訪れ、扁額「涉成園」の書を揮毫しました。また14代将軍の家茂も、度々涉成園を訪れています。庭園維持寄付金/500円以上、高校生以下250円以上
休み/無休
時間/【3月~10月】9:00~17:00(受付は16:30まで)
【11月~2月】9:00~16:00(受付は15:30まで)



世界文化遺産

東寺(教王護国寺)

真言宗総本山。794年の平安京造営の際、国家鎮護のため羅城門の東に創建され、幕末、「鳥羽伏見の戦い」の時は、薩摩軍が本営を置きました。西郷隆盛は、五重塔の上から望遠鏡で戦況を眺め指令を出していたといわれています。
拝観/境内自由(金堂・講堂は有料) 休み/無休 時間/8:00~17:00(金堂・講堂)



鳥羽 伏見

エリア



城南宮

平安遷都の際に都の守護神として創建されました。慶応4(1868)年1月3日、薩摩軍は城南宮に布陣、旧幕府軍が強行突破を図るや、4門の大砲と数多くの小銃を一齐に発射して激突、「鳥羽伏見の戦い」が始まりました。勝利を収めた薩摩軍は御礼参りに訪れました。
拝観/境内自由(神苑拝観600円)
休み/無休 時間/9:00~16:00



「鳥羽伏見の戦い」当時、小枝橋はここに架っていた



伏見夢百衆

おみやげ処として伏見の清酒約80種をはじめ、様々な伏見名物を販売しています。また、喫茶ではきき酒やお酒の仕込み水で点てた水出し珈琲・紅茶をはじめ甘味類も味わえます。
時間/10:30~17:00
休み/月曜日(祝・祭日は除く)



寺田屋

寺田屋は伏見の船宿で、幕末、薩摩藩士が同土討ちを起こした「寺田屋騒動」が起こったところです。また、坂本龍馬は、伏見奉行所の捕吏に襲撃されましたが難を逃れました。「鳥羽伏見の戦い」で焼失しましたが、その後再建されました。



御香宮神社

慶応4(1868)年の「鳥羽伏見の戦い」では、薩摩軍が屯所を構え、すぐ南にあった旧幕府軍の本陣(伏見奉行所)へ砲弾を浴びせました。境内に「明治維新伏見の戦跡」碑が建っています。

